

と議論が深められるよう考慮され、さらに初日夜にはカクテルパーティ、会議の中日にはエクスカッション(ウィスラー・マウンテンへのバスツアー)、4日目の夜にはバンケット(バンクーバー湾のパーティークルーズ)と参加者同志の交流も深められるよう工夫されていたと思う。日頃馴染みのない分野の多くの研究成果にふれることは刺激になったし、各国の研究者の洗練された発表技術にも学ぶ点が多かった。日本人の参加は多くはなかったが、たぶんそのおかげで私もある雑誌のインタビューに引っぱり出される羽目となった(Tracy, 1998)。国内では絶対あり得ないハブニングであったが、この会議で得たばかりの霧に関する多様な視点を広く伝える機会のひとつになったかもしれない。

議長のSchemenauerをはじめ、会議をリードしてきた人々の多くは、とにかく霧が好きだということはよくわかった。そうでもない、このような異分野を横断した会議が成立するわけがないのではないか。私もそうしたひとりになりうるのかと思いつつ、霧とは無縁の、連日抜けるような青空だったバンクーバーを

後にした。(山本 哲)

謝 辞

今回の会議出席に関し、旅費申請や渡航手続などで関係諸官にいろいろお世話になった。山本は科学技術振興調整費「局地的なシアーラインの発現・強化とこれに伴うシビアウェザーの発生過程に関する基礎的研究」から費用の支給を受けた。ここに記して謝意を表する。

参 考 文 献

- Hori, T. (ed.), 1953: Study on Fogs—In Relation to Fog—Preventing Forest, Tanne trading, 399pp.
井川 学, 1999: 「第一回霧と霧の採取に関する国際会議」報告, 大気環境学会誌, 34, A21-22.
木川誠一郎, 1998: 運輸多目的衛星について, 天気, 45, 229-233.
Tracy D., 1998: Demystifying Fog, WINGSPAN, 11, (10), 36-37.
山本 哲・菊地時夫, 1998: インターネットによる霧情報収集の試み, 天気, 45, 361-368.

≡≡≡支部だより≡≡≡

北海道支部第17回夏季大学開講のお知らせ

—気象講座「新しい気象」—

日 時: 平成11年7月29日(木), 30日(金)
午前10時~午後3時
場 所: 札幌市青少年科学館(第1日目)
(JR・地下鉄東西線「新札幌駅」下車)
札幌管区气象台(第2日目)
(地下鉄東西線「西18丁目駅」下車)

参加費: 1,000円

対象・定員: 一般(高校生以上)50人

申込み方法: 往復はがきに講座名「新しい気象(朱書き)」住所・氏名・電話番号・返信宛名を明記し、お申し込みください。

但し、申込み多数時は抽選とします。

申込先: 〒004-0051

札幌市厚別区厚別中央1条5丁目
札幌市青少年科学館「新しい気象」係
TEL: 011-892-5001

申込締切: 平成11年7月17日(土)

問い合わせ先: 〒060-0002

札幌市中央区北2条西18丁目
札幌管区气象台内
日本気象学会北海道支部
TEL: 011-611-6121(内線415)